

H30年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	川田テクノシステム株式会社
ソフトウェア名	V-nasClair・Kitシリーズ・basepage
適用分野	BIM/CIM全般、i-Construction
適用フェーズ	概略設計、予備設計、詳細設計、施工、維持管理

国土省		川田テクノシステム株式会社	
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	H30年度施策	ソフトウェアの対応状況
1	契約図書化に向けたCIMモデルの構築（設計・施工）	新たに策定した「3次元モデル表記標準（案）」をもとに2D図面と連動した3Dモデル作成・活用を実施。	対応予定。 ※V-nasClair Ver.2019（2019年1月リリース予定） ●3Dモデルから任意断面（アノテーション平面）を切り出し2D図面化が可能。 ●切り出した2D図面に作図した寸法線等は3Dモデルにもアノテーションとして反映可能。 ●3DPDF出力可能。（ビュー定義も保持）
2	関係者間での情報連携及びオンライン電子納品の試行	新たに策定した「情報共有システム機能要件」をもとに3Dビューを活用した関係者間共有、オンライン納品を実施。	対応済。 ●国土交通省策定の「情報共有システム機能要件」をクリア。 ●TV会議システムも実装。 ※2019年春運用開始予定 ●ASP（basepage）上で3Dモデル（IFC、L a n d X M L等）のビューが可能。 ●「オンライン電子納品」は国土省の試行実験に参加。 ●V-nasClairからダイレクトにASP上のファイルキャビネットにアクセス可能。
3	属性情報の付与	付与すべき属性情報を検討、結果を一覧にとりまとめる。（H30年度からIFCによる属性情報の直接付与が可能に）	対応済。 ●要素への直接付与および外部ファイルへのリンクに対応。 ●IFCファイルによる属性交換に対応。
4	CIMモデルによる数量、工事費、工期算出	3Dモデルでの数量算出のため、改定された「土木工事数量算出要領（案）」をもとに課題や結果をとりまとめる。	対応済。 ●STR_Kit（橋台、橋脚、ボックスカルバート）、ROAD_Kit（道路設計）、RIVER_Kit（築堤設計）では作成した3Dモデルから3D数量の算出が可能。橋台、橋脚については工事費算出にも対応。 ●任意構造物については汎用機能にて体積数量算出が可能。 ●工期算出については未対応。
5	CIMモデルによる効率的な照査の実施	詳細設計照査要領に基づく従来の照査と比較し、3Dでの照査による効率化の程度についてとりまとめる。	対応済。 ●3D上での任意点間の距離計測、座標計測等による照査。 ●読み込んだLandXMLから線形計算書を出し数値的に照査。 ●干渉チェック機能により鉄筋モデルの照査や埋設管などの既設構造物と新設構造物の取り合いを照査。 ●3D寸法の作図による照査。 ●2D図面と3Dモデルの重ね合わせによる照査。 ●ポーリングデータ（XML）のモデル化と地質断面図（パネルダイヤグラム）による杭長の照査。
6	施工段階でのCIMモデルの効率的な活用	施工計画検討を動画によって実施。工事においては計測機器と連携した出来形確認を実施。	対応済。 ●施工ステップに合わせた分割モデルから施工ステップ動画の作成が可能。
7	その他【現場特性に応じて設定】	実施する現場の特性に応じてカスタマイズ。受発注者の協議を介し、3Dデータ活用による生産性向上の手立てを探る。	●点群（LAS、CSV等）やFBXファイルにも対応しているので設計・施工対象構造物以外のモデリング作業を軽減できる。